

横浜市立仲尾台中学校で「職業講話」を実施し自衛隊をPR



生徒に自衛隊の仕事を紹介する
横浜中央募集案内所小松曹長



生徒からの質問に答える
横浜中央募集案内所小松曹長

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、2月5日（月）、横浜市立仲尾台中学校（横浜市中区）において「職業講話」を実施し自衛隊をPRした。当中学校からは今年度も高等工科大学の受験者、1次試験合格者が出るなど、自衛隊に対して理解の深い学校である。

聴講したのは、スポーツ選手や旅行添乗員、弁護士など数ある職業講話のうち「自衛隊」の仕事を知りたいと希望し、選択した中学1年生の14名。広報官は日本を守る仕事、世界の安定を手伝う仕事などと中学生にも分かりやすくスライドや動画を用いて説明し、また陸自普通科で対戦車ミサイル（87ATM）を扱っていた経験から陸上自衛官の仕事について話し、訓練や整備など今日、明日、明後日と仕事内容が異なり、様々な経験をすることができると紹介した。

生徒からは「自衛官がしてはいけないことは何ですか」「自衛官になる試験は難しいですか」「ミサイルはどうやって撃つの」などの質問や「自衛隊には様々な仕事や入隊コースがあることを初めて知った」「基地に行ってみよう」などの感想が聞かれた。

講話後、平本校長は「1年生にとっては、初めての仕事についての授業であり、印象に残ることになる。2年生では職場体験、3年生では進路選択とつながっていく。今後も協力をお願いしたい」と話した。

横浜中央募集案内所は「積極的に学校と協力し、生徒の自衛隊への理解に努め、募集成果につなげていきたい」としている。

横浜駅西口にて街頭広報を実施し自衛官募集をPR



横浜駅西口で自衛官募集を呼びかける広報官

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、2月6日（火）、横浜駅西口において募集広報を実施し、多くの若者に自衛官募集を呼びかけた。

広報官は「自衛官募集中です」と声を掛けながら、募集リーフレットや資料請求ハガキ入りのポケットティッシュなど約400部を若者らに手渡した。受取った学生らは「迷彩服カッコイイですね」などと広報官に話しかけ、リーフレットに目を通していた。

広報官は立ち止まった若者らの質問に丁寧に答え、国際貢献活動や災害派遣でも活躍できる事などを話し、若者らは「自衛隊でしかできない仕事。あるんですね」と話し、興味を持った様子だった。

横浜中央募集案内所は「今後も街中での募集広報活動を行い、志願者の獲得に繋げていきたい」としている。